



平成21年2月9日

各位

会社名 日本山村硝子株式会社  
 代表者名 取締役社長 山村 幸治  
 コード番号 5210 (東証・大証第一部)  
 問合せ先 経理部長 水田 好彦  
 T E L 0798 (32) 2300 (代表)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年11月7日に公表した平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 平成21年3月期通期業績予想の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

連結業績予想

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	74,700	2,350	2,350	1,100	10円04銭
今回修正予想(B)	73,500	1,600	1,600	650	5円93銭
増減額(B-A)	△1,200	△750	△750	△450	—
増減率(%)	△1.6	△31.9	△31.9	△40.9	—
前期実績 (平成20年3月期)	75,320	2,967	2,760	1,589	14円30銭

(参考)個別業績予想

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	59,900	1,600	1,900	950	8円67銭
今回修正予想(B)	59,000	950	1,350	650	5円93銭
増減額(B-A)	△900	△650	△550	△300	—
増減率(%)	△1.5	△40.6	△28.9	△31.6	—
前期実績 (平成20年3月期)	61,102	2,175	2,371	1,444	13円00銭

## 2. 修正の理由

世界同時不況が深刻化し国内景気が急速に悪化するなか、当社グループを取り巻く事業環境も一層厳しさを増しております。ガラスびん、プラスチックキャップ、プラズマテレビ用粉末ガラス等の出荷が低調に推移しており、グループ全体で徹底したコスト削減に努めるものの、工場稼働率の低下による固定費負担が響き、遺憾ながら通期の業績は前回予想数値を下回る見込みとなりました。

※1 今回修正予想の1株当たり当期純利益の算出に用いた期中平均株式数には、第4四半期における自己株式の買付による影響見込みを織り込んでおります。

※2 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上